

スタートアップ・エコシステムの構築に向けて

2024年6月25日

経済産業省北海道経済産業局

【本発表資料のお問い合わせ先】

経済産業省北海道経済産業局

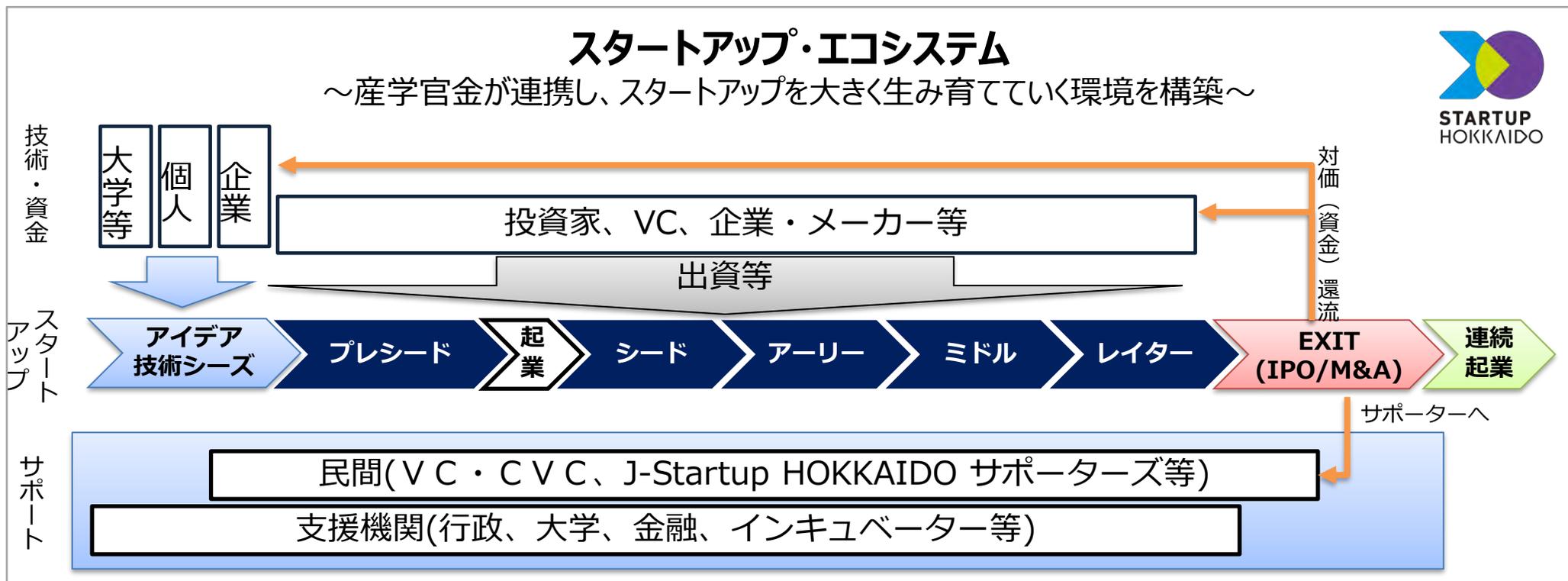
地域経済部 産業技術革新課(担当：楠本、小林、坂本)

電話：011-709-2311(内線2588)

E-mail：bzl-hokkaido-gijutsu@meti.go.jp

1. 概要

- 当局では2020年度から、札幌市をはじめとした関係機関と連携し、ピッチコンテストや各種マッチングなどスタートアップの創出・成長支援事業を展開してきました。
- 2023年9月には、オール北海道体制で「スタートアップ・エコシステム」の構築を推進する母体として、札幌市・北海道・北海道大学とともに「STARTUP HOKKAIDO実行委員会」を設立。スタートアップの成長フェーズに応じた支援を展開しています。
- 今年度も、様々な施策ツールや企業支援の実績・ノウハウといった当局が有する強みを活かし、「スタートアップの創出（幅）」「ロールモデルの創出（高さ）」「イノベーションの創出（深さ）」に取り組むことにより、北海道におけるスタートアップ・エコシステムの構築に貢献していきます。



2. 支援体制（当局の取組）

- 当局はスタートアップ支援において、「道内外大手企業とのコネクション」、「個社支援のノウハウや実績」、「成長を支える多様な施策ツール」など、主に**全国大のネットワークや企業の成長支援における強み**を有する。
- そうした強みを最大限に活かし、今年度は、「**女性起業支援**」、「**オープンイノベーション支援**」、「**知財分野における支援**」に重点的に取り組む。

フェーズごとの支援例

STARTUP
HOKKAIDO

起業候補者・スタートアップ



- ✓ 女性起業支援
- ✓ アントレプレナー教育
- ✓ ネットワーキング
- ✓ 交流・活動拠点整備
- ✓ 各種補助金等による支援 など

- ✓ オープンイノベーション
- ✓ 知財戦略導入支援
- ✓ 道内外ファンド・VC・CVCとのマッチング
- ✓ 海外展開支援
- ✓ ピッチ・交流会 など

支援者

（民間、VC・CVC、支援機関等）

- ✓ STARTUP HOKKAIDOとの連携・協力
- ✓ 道内外支援者とのネットワーク構築
- ✓ 支援スキル強化事業
- ✓ 情報発信・情報共有
- ✓ 支援策説明会・個別相談会 など



スタートアップの活動拠点
（札幌市役所19階「社交場ヤング」）



アントレプレナープログラム
（小中高生向け）



ビジネスアイデア考案プログラム
（フューチャースキル）



Demo Day
（先輩起業家のトークイベント）



Hokkaido Innovation Week
（PolarBear Pitching）

3. ①女性起業支援 New!

- スタートアップの起業家に占める女性割合は少なく、様々な課題も存在することから、経済産業省では2023年5月に「女性起業家支援パッケージ」を公表し、女性起業支援を総合的に推進しているところ。
- (公財)さっぽろ青少年女性活動協会は、経済産業省「令和6年度ユニコーン創出支援事業（女性アントレプレナーのための地域密着型支援事業）」を活用し、①**地域ネットワーキングイベント**（札幌・旭川・帯広）、②**ビジネスプラン発表会**を開催予定。
- 当局では、本事業の実施を通じ、道内における女性起業家の創出・成長を支援する。

事業主体



×

連携・協力機関



①地域ネットワーキングイベント

札幌、旭川、帯広の3地域において、
地域女性起業家の成長へ向け

- ・女性起業家ロールモデルによる講演
- ・支援機関等からの情報提供
- ・支援機関・VC等との交流会等を実施（8～9月）。



NoMaps2023でのカンファレンス

②ビジネスプラン発表会

<今後の予定>

- 7～9月 : プラン募集
- 10月 : セミファイナリスト決定
- 11月以降 : メンタリング・伴走支援
- 12月 : ファイナリスト決定
- 1月 : 発表会・交流会



女性起業家プレゼンテーションイベント
(ほくじよき.net)

3. ②オープンイノベーション支援

- スピーディなイノベーションの実現へ向け、様々な技術・人・資金を広くオープンな外部市場から調達することが重要。
- 当局が有するネットワーク等を活かし、「Open Innovation Challenge Pitch HOKKAIDO 2024」を開催。道内外の**大手企業と道内スタートアップ・研究者等とのマッチング**を通じた協業・販路開拓を支援。
- 特に、**J-Startup HOKKAIDO選定企業**を集中支援。共同開発・実証や製品・サービスの導入等を通じて、スタートアップの事業化・収益化を図る。

Open Innovation Challenge Pitch HOKKAIDO 2024

- ①大手企業が欲する技術シーズを公開（9月）
- ②スタートアップから大手企業に対する提案を募集（10～12月）
- ③大手企業による事前審査の上、マッチング・個別面談（1月～）

New! その他、J-Startup HOKKAIDO選定企業と大手企業等との交流イベントを実施（複数回）



期待される成果

- ✓ 大手企業とスタートアップとの共同研究
- ✓ 大手企業からスタートアップへの技術・資金提供
- ✓ 研究開発補助金等への申請・採択 等

※2023年度事業の実績



- 👉 **シーズ提案件数** : 90 件
- 👉 **個別面談件数** : 56 件
- 👉 **面談継続件数** : 38 件

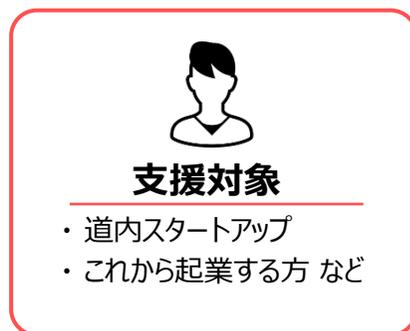
ニーズ提案のあった大手企業

アプライド(株)、国分北海道(株)、JFEエンジニアリング(株)、日本ハム(株)、パナソニックIPマネジメント(株)、三井物産(株)北海道支社、伊藤忠商事(株)、(株)北日本オートバックス、サッポロビール(株)、日光ケミカルズ(株)、フィード・ワン(株)北海道事業部、(株)ビジョナリーホールディングス、北海道電力(株)、ロート製薬(株)

3. ③知財分野における支援

- スタートアップにとって「知的財産」は、新市場への参入・競合他社との差別化という点で極めて重要な戦略要素であり、成長と競争力の源泉。
- **知財・経営戦略分野の「専門家派遣」**のほか、今年度は特許ライセンスから訴訟対策までを網羅した**「知財経営実践研修」**、そして、教育機関の知財支援体制強化へ向けた**「体制・環境整備促進キャラバン」**を実施する。

▶ 専門家派遣(8月以降)



課題を把握・整理

①



②

メンタリング・課題解決支援



③

専門知識に基づく解決支援

支援チーム



コーディネーター人材

- ・スタートアップ支援経験者
- ・アクセラレータープログラム運営経験者
- ・スタートアップ起業・新規事業部門経験者



専門家人材

- ・弁護士、会計士、弁理士
- ・実績豊富な支援家
- ・ベンチャーキャピタリスト など

New!

▶ 知財経営実践研修(9月以降、5回程度)

主にバイオ・医薬分野のスタートアップを対象として、起業から体制・環境整備などを学ぶ研修を開催
<テーマ例>

創業時のVC資金調達に向けた知財活用、特許ライセンスにおける留意点、創業時の経営体制、バイオ・医薬特許戦略、特許訴訟・紛争、社内知財マネジメント・ガバナンスなど

New!

▶ 体制・環境整備促進キャラバン(10月以降、3機関程度)

道内大学・高専の知財支援体制に関する課題を整理し、専門家とともに課題解決を支援

<取組イメージ>

北海道大学が主幹機関であるHSFCと連携し、知財相談にかかる現状の体制や体制強化に向けて必要な事項、課題等を整理し、ミニセミナー形式で課題解決手法の提案や意見交換を実施



支援機関に特化した知財ナレッジ強化研修
(主催：HSFC・当局ほか)

参考資料

【参考1】STARTUP HOKKAIDO

- 札幌市及び北海道等と連携し、グローバルで活躍するスタートアップを産み育てるエコシステムの実現に向けて、オール北海道体制の推進組織として「STARTUP HOKKAIDO実行委員会」を設立。
- 「一次産業・食」「宇宙」「環境・エネルギー」を注目分野として、スタートアップ創出・育成に取り組んでいる。

連携団体等
札幌・北海道スタートアップ エコシステム推進協議会
J-Startup HOKKAIDO
北海道未来創造スタートアップ育成 相互支援ネットワーク (HSFC)

 STARTUP HOKKAIDO実行委員会
構成メンバー
札幌市 北海道 北海道経済産業局 北海道大学 民間メンバー（D2Gほか）



STARTUP HOKKAIDO記者発表(2023/9/13)



<取組事例>



スタートアップ相談会
専門家派遣



スタートアップビザ制度
女性起業家育成サポート



アントレプレナーシップ教育
学生向けプログラム



オープンイノベーション
プログラム



アクセラレーター・ネットワーキング
プログラム



ピッチイベントなど

【参考2】J-Startup HOKKAIDO

- 北海道経済産業局、札幌市、さっぽろ産業振興財団が共同で、「**J-Startup HOKKAIDO**」選定企業としてこれまで**55社**選定。他地域と比較して、一次産業や航空・宇宙に特色。
- **地域に根差した有望スタートアップ企業を積極的に発掘・選定**し、公的機関と民間企業が連携して集中支援を実施することで、選定企業の飛躍的な成長を図る。

J-Startup HOKKAIDO選定企業 (55社) ※業種は事務局にて分類 (順不同)。

○一次産業 (10社)

エゾウイン(株)、(株)MIJ labo、GOODGOOD(株)、スペースアグリ(株)、(株)農業情報設計社、(株)ファームノート、(株)Fant、(株)VETELL、(株)よびもり、(株)ラテラ

○バイオ・ライフサイエンス (11社)

(株)eBioSpine、(株)イーベック、(株)エヌビー健康研究所、遠友ファーマ(株)、カムイファーマ(株)、(株)komham、五稜化薬(株)、HILO(株)、ライラックファーマ(株)、(株)LABバイオテック、(株)RAINBOW

○航空・宇宙 (5社)

(株)岩谷技研、インターステラテクノロジズ(株)、(株)エアシェア、(株)MILE SHARE、Letara(株)

○素材・環境 (3社)

大熊ダイヤモンドデバイス(株)、エスイーシー・シープレックス(株)、(株)メカノクロス

○AI (8社)

AIQ(株)、AWL(株)、(株)AIハヤブサ、(株)AILL、(株)調和技研、ティ・アイ・エル(株)、(株)未来シェア、(株)RESA

○IoT、データ等 (18社)

(株)あるやうむ、(株)インターパーク、(株)インプル、Auto VR(株)、(株)オンライン薬局、(株)キットアライブ、Care Viewer(株)、(株)スマートルアー、ゼロスペック(株)、ネットドア(株)、BULB(株)、フォレストデジタル(株)、(株)FLINTZ、マルゴト(株)、(株)MIERUNE、(株)ミルウス、Younode(株)、(株)ランドスキップ



J-Startup
HOKKAIDO

【支援例】

- ・特設ページでの企業PR
- ・サポーターズによる各種支援
- ・補助金等加点措置 (Go-Tech事業、IPAS等)
- ・専用相談窓口
- ・ピッチイベント、アクセラレータープログラムなどへの優先紹介
- ・オープンイノベーション・ビジネスマッチング支援
- ・入札参加資格の特例、資金調達支援の特例 等

【参考3】 J-Startup HOKKAIDOサポーターズ

- J-StartupHOKKAIDOでは、これまで選定企業の成長支援を担う企業や団体等を「**J-Startup HOKKAIDO サポーターズ**」として**111機関登録**。
- メーカー・商社など大企業の参画を強化し、**協業・販路開拓などビジネス面での連携(オープンイノベーション)**を図る。

サポーターズ参画機関 (2024年6月現在：111機関) ※業種は事務局にて分類 (順不同)

分類	サポーター数	支援内容の例
サービス等	44	・自社サービスの特別価格提供 等 ・人材紹介、EXIT支援、勉強会などイベント開催
大企業等	19	・自社リソースも活用した協業・共創支援 ・CVCによる出資、事業拡大・販路開拓支援 ・事業スペースの提供、オープンイノベーション推進
金融等	18	・VC紹介、土業や事業会社とのビジネスマッチング ・資金調達相談
土業	12	・法務、知財、会計相談対応や初回相談無料 ・契約書の作成・レビュー支援、法的助言
広報支援	11	・冊子やHP、メディアへの無料掲載 ・無料メンタリング、マッチング促進イベント開催
公的機関	7	・コンサルや共同研究など技術・販路支援 ・補助金などによる支援、自治体や事業会社の紹介

連携(オープンイノベーション)のイメージ



× 大手企業等



- ・スタートアップの知財とメーカーの開放特許を活用した新製品・新サービス開発
- ・メーカーからの出資によるスタートアップの事業成長
- ・スタートアップが開発する製品を商社のネットワークを活用した販路開拓
- ・商社の海外ネットワークを活用したスタートアップの海外展開
- ・スタートアップが開発するデバイスを医療機関にて実証評価や研究開発
- ・スタートアップのフードテック技術を飲食店舗や施設でのテストマーケティング
- ・地方自治体や廃校等を活用した技術実証・検証

【参考4】 スタートアップの成長に向けた事業課題

- 道内スタートアップ約40社への調査を通じ、販路開拓や資金調達、サービス・製品開発の課題感が高いことが明らかとなったことから、大手企業やCVC等とのマッチング・連携促進が必要。

道内スタートアップの事業課題

販路開拓	約80%
資金調達	約70%
サービス・製品開発	約70%
人材確保	約65%
ネットワーク	約35%
知的財産	約35%

【参考5】スタートアップ等の公的支援策活用例

研究開発・事業化・社会実装

- ディープテック分野で具体的な技術シーズを活用したビジネスモデルを有し、事業化可能性の調査、事業化促進に向けた研究開発、実証を支援
遠友ファーマ(株)(札幌市)「抗体医薬品開発のための新規標的分子を探索・同定する技術の開発」
※NEDO「ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業(NEP)2023躍進コース」
- ディープテック・スタートアップを対象とした、実用化研究開発や量産化実証、海外技術実証などへの支援
Letara(株)「超小型宇宙機に対応した超小型ハイブリッドスラスタの開発」
(株)MJOLNIR SPACEWORKS「量産ハイブリッドロケットシステムの開発」
AWL(株)「現場生産性向上AIソリューション大規模展開に伴う基盤技術開発」
※NEDO「ディープテック・スタートアップ支援事業(DTSU)」
- 中小企業等が大学・公設試等と連携して行う、事業化につながる可能性の高い研究開発等及び事業化に向けた取組を支援
AWL(株)「多様な環境に合わせて自動で設置可能な映像認識エッジAIミドルウェア開発」
(株)RAINBOW「脳卒中慢性期患者を対象にした新規再生医療等製品の研究開発」
カムイファーマ(株)「酵素改良による無機ポリマー医薬品原料の大量合成法の開発」
※経済産業省「令和5年度成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-tech事業)」
- 多様化する社会課題の解決に貢献する研究開発型スタートアップ等の研究開発の促進及び成果の円滑な社会実装を目指して支援
(株)MJOLNIR SPACEWORKS「民生技術活用による低コストコンポーネントハイブリッドエンジンシステムの開発」
※NEDO「2023年度「SBIR推進プログラム」(一気通貫型)」
- 国際競争力を持ったロケットの開発・飛行実証を行うスタートアップ企業を支援
インターステラテクノロジズ(株)「小型人工衛星 打上げロケット ZERO の技術開発・飛行実証」
※文部科学省「中小企業イノベーション創出推進事業(SBIRフェーズ3)宇宙分野」

環境整備

- 大学等を中心とした地域イノベーション拠点の中で、企業ネットワークのハブとして活躍している産学連携拠点を評価・選抜
北海道大学 創成研究機構・宇宙ミッションセンター
※経済産業省「第5回地域オープンイノベーション拠点選抜制度(ジイノベ)」

海外展開

- 外国への特許、実用新案、意匠、商標等の出願に係る費用を支援
五稜化薬(株)、(株)RAINBOW、(株)MJOLNIR SPACEWORKS
※特許庁「令和5年度 中小企業等外国出願支援事業」

人材育成

- 創業前から創業初期の起業家候補人材の育成及び支援
山石直也氏
「医療診断装置向けTIBr(臭化タリウム)導体γ線センサーのビジネス仮説検証」
※NEDO「ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業(NEP)2023開拓コース」
- 地域でイノベーションを起こす人材を発掘・育成
(一社)新雪、(一社)Ezofrogs、(特非)北海道エンブリッジ
※経済産業省「令和5年度未踏的な地方の若手人材発掘育成支援事業補助金(AKATSUKIプロジェクト)」